

田畑忠 政治學・憲法學者、法學博士。明治二十五年一月二十一日滋賀縣生れ、平成六年二月十四日歿（九三―九四）。昭和二年同志社大學法學部政治學科卒。十四年同大教授、二十一年學長就任。二十七年憲法研究所を設立（代表委員）し、機關誌『永世中』を創刊。

著書に『學問と大學』（昭和十六年九月二十五日白揚社）、『日本民族論』（合著・帝國書院編輯局編、昭和十八年十一月二十五日帝國書院『民族科學大系』）、『明治政治思想研究・第一冊―加藤弘之（天賦人權論と社會的ダーヴァインズム）』（昭和二十二年七月一日京都・玄林書房『關書院』）、『國家のつくりかた』（昭和二十二年七月一日京都・玄林書房『新生文庫』）、『教育を争うたため』（合著・関口泰編、昭和二十九年一月二十八日柏林書房）、『討論日本國憲法』（一圓一億・黒田了一共編、昭和二十五年十一月六日二書房『二一新書』）、『首相ハ選論―その主張と批判』（合著・吉村止編、昭和二十七年十一月二十日弘文堂『フロンティア・ブックス』）、『兒島惟謙』（昭和二十八年八月十五日吉川弘文館『人物叢書』）等。

